

科目名	文化人類学 (Cultural Anthropology)			科目コード	111
開講学科	看護学科・臨床検査学科	選択区分	選択	単位数 (時間)	2 単位 (30時間)
科目区分	共通教育科目	履修時期	1 年次後期	関連DP	看①⑤、臨①⑤
担当教員	森 日出樹*				
授業概要	第1部では、「交換」をキーワードにして、動物にはない人間独自の文化・社会・制度について考える。第2部では、人間の思考(言語)の構造から、ジェンダーの問題、儀礼等について考察する。また、第3部では、医療人類学を紹介し、「病」や「いのち」の問題を考える。				
授業目標	本講義では、文化人類学の視点から、人間の文化や社会の様々な側面を眺めてみることで、人間に対する理解を深めること、また、医療現場において重要性が高まってきている医療人類学の基本的な考え方を修得することを目標とする。				

授業計画

回	項目	内容
1	はじめに	文化人類学とは
2	婚姻制度 (家族) の誕生①	インセスト・タブーの謎を解く
3	婚姻制度 (家族) の誕生②	女性の交換としての婚姻制度
4	人間の経済活動①	モノの交換について—「買い物」と「贈与」
5	人間の経済活動②	交換の違いがもたらす社会の違いについて考える
6	分かち合い、助け合う人間	人類が進化の過程で身につけた人間特有の行動について考える
7	人間と言語	言語の多様性に触れる
8	言語と思考について①	認識の枠組みを提供するものとしての言語について考える
9	言語と思考について②	二項対立の思考
10	ジェンダーの文化人類学	「女」と「男」の性差と文化 (社会)
11	信仰と儀礼①	信仰の対象となるものについての考察
12	信仰と儀礼②	儀礼・祝祭の時間・空間について考える
13	医療人類学①	伝統的医療と近代的医療
14	医療人類学②	「病」と文化
15	医療人類学③	「いのち」と文化
成績評価方法	授業に対する取り組みの積極性 20%、ミニレポート 50% (25%×2回) 最終レポート 30%	
教科書	使用しない。	
参考図書等	授業中随時紹介する。	
授業時間外の学習について		
関連科目		
備考		